

2026 年 3 月 11 日

米国とイスラエルによるイランへの軍事攻撃に抗議し、
即時停止を求める声明

日本キリスト教婦人矯風会は、民間人の命と生活を奪う米国とイスラエルによるイランへの軍事攻撃に強く抗議するとともに、イランに報復攻撃の自制を求め、紛争の即時停止を求めます。

武力攻撃により病院、学校、住宅、空港等人々の暮らしを支える施設が破壊され続けています。米国とイスラエルがイランの指導部や軍事施設への攻撃を開始した 2 月 28 日には、イラン南部のミナブで小学校がミサイル攻撃を受け、7 歳から 12 歳の女の子と教員 160 人以上が死亡したと伝えられています。米国とイスラエルによる軍事攻撃は他国への武力行使や武力による威嚇を禁止した国連憲章に違反し、また小学校への攻撃は、戦争中に民間人や民間施設への攻撃を禁じた国際人道法違反に当たります。

戦争で最も被害を受けるのは、女性や子ども、高齢者や障がいのある人々など、脆弱な立場にある人々です。空爆で自由と人権は守れません。民間人に戦争の犠牲を強いることは世代を超えて人々の生活に影を落とし、ひいてはその国の発展の妨げにもなります。

強い影響力のある国家による違法行為は、民間人を危険にさらすだけでなく、国際平和と安全の基盤となる国際規範をも脅かしています。敗戦の深い反省のもとに生まれた平和憲法を持つ日本政府は、いかなる武力行使も支持せず、関係国に自制と平和的解決に向けた連携を求める立場を明確にしてください。

公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会